

New surgical scoring system to predict postoperative mortality

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木下, 真帆 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032170

主論文の要旨

New surgical scoring system to predict postoperative mortality.

(術後予後を予測する新しい周術期スコアリングの提案)

東京女子医科大学麻酔科学教室

(指導：尾崎 眞 教授)

木下 真帆

Journal of Anesthesia, published on line 19 December 2016

DOI: 10.1007/s00540-016-2290-2

【要 旨】

外科領域において、周術期死亡をいかに減らすかは重要な課題である。事前に術後死亡率を予測する評価方法は数多く提唱されているが、いずれも十分でなく広く普及するに至っていない。今回、我々は患者の術前術中状態を統合した、術後死亡率を予測するための新たな評価方法 SASA スコアの作成をし、その有用性を Surgical Apgar Score (sAs) およびアメリカ麻酔科学会全身状態分類 (ASA_PS) と比較検討した。全身麻酔または区域麻酔により手術を受けた患者 32, 555 名を対象とした結果、いずれのスコアリングも重症度が上がるとともに術後 30 日死亡率は増悪した。sAs はスコアが 2 下がるたびにリスクは 3.65、ASA_PS ではスコアが 1 上がるごとリスクは 6.4 上昇した。sAs および ASA_PS いずれも高い予測力が示されたが (AUC=sAs 0.81, ASA_PS 0.79, $P<0.001$)、SASA では両者をさらに上回る予測力が示された (AUC=0.87 $P<0.001$)。SASA は、計算も容易で、かつ単独においても有用性の高い sAs と ASA_PS を統合したものである。ASA_PS は患者の術前状態を、sAs は患者の術中状態を現わしており、周術期の患者リスクを総括的に示すことが期待される。術後 30 日以内死亡を予測する上で、sAs と ASA_PS の有用性は非常に高いものであった。簡便で強力なこれら二つのスコアリングを統合した SASA はさらに高い有用性を示した。